

大同特殊鋼グループ経営理念

素材の可能性を追求し、
人と社会の未来を支え続けます

行動指針

高い志を持つ
誠実に行動する
自ら成長する
チームの力を活かす
挑戦しつづける

大同特殊鋼グループロゴ

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special

クッチャロ 自然の森だいでう

日本最北端の地、宗谷岬から南へおよそ80キロ。北海道枝幸郡浜頓別町にあるクッチャロ湖は、1989年日本で3番目にラムサール条約*登録湿地に指定され、手つかずの自然が多く残る北緯45度の秘境です。毎年春と秋には数万羽のコハクチョウが羽を休める中継地となり、冬にはオオワシや絶滅危惧IB類(EN)指定のオジロワシなど、さまざまな渡り鳥が飛来します。

この貴重な湖のほとりに、当社は土地を所有しており、森林の維持・保全に努めています。

2005年、当社はこの湖のほとりにある社有林を「クッチャロ 自然の森だいでう」と名づけ、環境保全・自然愛護啓発のシンボルとし、社会貢献活動の一つとして環境教育などさまざまな環境活動を展開しています。

*ラムサール条約:水鳥の貴重な生息地である湿地を保護する国際条約

CONTENTS

全体版

- 2 トップメッセージ
- 4 大同特殊鋼と社会の関わり
- 6 **特集1 大同特殊鋼の生物多様性への取り組み**
**生命(いのち)のつながりを
守るために**
- 8 **特集2 大同特殊鋼の循環型社会への取り組み**
限りある資源を大切にするために
- 10 2018年度の主なトピックス
- 12 **大同特殊鋼のCSR活動について**
- 13 **ESGへの取り組み(Environment)**
地球環境への責任と貢献
 - 14 環境マネジメント
 - 19 環境負荷低減への取り組み
 - 28 循環型社会を目指す取り組み
 - 30 工場別データ
 - 33 ISO環境管理・監査システムへの対応
- 34 **ESGへの取り組み(Social)**
社会への責任と貢献
 - 35 ステークホルダーに対する取り組み
 - 35 お客様に対する取り組み
 - 37 株主・投資家に対する取り組み
 - 38 地域社会に対する取り組み
 - 40 従業員に対する取り組み
- 45 **ESGへの取り組み(Governance)**
コーポレート・ガバナンスへの取り組み
 - 46 CSR経営
 - 46 CSR推進体制 概念図
 - 47 ガバナンス体制
 - 48 リスクマネジメントとコンプライアンス
- 50 **コーポレートデータ**
 - 50 大同特殊鋼グループの概要
 - 51 事業概況
 - 52 グループ会社一覧

編集方針

企業は、社会の一員として、環境はもちろん社会全体の持続的発展に貢献することが求められます。当社では、こうした企業活動における社会的責任を包括的に伝えるツールとして、2006年度から環境報告書に代えてCSR報告書を毎年刊行しています。

対象と範囲

本報告書の閲読対象は大きく分けて、当社のステークホルダー(お客様、株主・投資家、地域社会、従業員など、当社事業に関わるすべての方々)、公共機関、メディア、教育関係などを想定しています。報告対象範囲としては、社会性報告、環境性報告、経済性報告というトリプルボトムラインを基本にしており、「環境(E)」「社会(S)」「ガバナンス(G)」の取り組み内容毎にカテゴリー分けしています。

報告対象期間

2018年4月1日～2019年3月31日(一部2019年度の活動を含みます)

報告書発行日

2019年10月(前回発行2018年9月)